

福岡県青少年問題協議会専門委員会議(第1回～第3回)での主な意見

会 議	項 目	番号	意 見 ・ 質 疑
第1回	ふくおか未来人財育成ビジョン関連	①	・ふくおか未来人財育成ビジョンにおける「学力・体力・豊かな心」の「体力」の部分は、「我慢する力」や「耐性」などの精神の力をいかに高めるかということも重要で、「豊かな心」とも関係するが、それが文言として見えていない。
	県民意識等調査	②	・県民意識調査において、フィルタリングの使用について「分からない」と答えた青少年が多い。フィルタリングについて説明もせずに子どもにスマートフォンを渡している保護者の意識が、今後のインターネット使用に関する啓発のポイントだと思われる。
第2回	めざす青少年像	③	・「青少年が相手のことを尊重し互いの多様性を認め…」とあるが、相手を尊重する前に、まず、自分のことをしっかりと尊重する旨の文言を入れてほしい。
	対象とする青少年の範囲	④	・ひきこもりやニートなど、課題によっては、青少年の範囲を40歳未満まで範囲を拡大するとしているが、30歳代後半が青少年というのは違和感がある。
第3回	現状と課題 (グラフ)	⑤	・「現状と課題」に記載しているグラフのうち、急激に増加した箇所については、その背景について記載したほうがよい。
	現状と課題 (生活習慣)	⑥	・「現状と課題」の「生活習慣」については、朝ごはんを誰と食べているかよりも、食べているかいないかのデータがあった方がよい。 ・起床できているか、睡眠時間が足りているかなどの生活全般が見えるようなデータを入れた方がよい。
	現状と課題 (遊び)	⑦	・子どもにとって「遊び」は大事。「現状と課題」に「遊び」に関する記載がないので、入れた方がよい。
	現状と課題 (情報化社会の進展)	⑧	・福岡県は他県に比べてインターネット適正利用に関する取組みが充実している。インターネットの利用に関するトラブルなどは、他県と比較して少ないのではないか。他県と比較したデータを記載してはどうか。
	現状と課題 (情報化社会の進展)	⑨	・インターネットの利用については、どのような内容で利用しているのかを把握すべきではないか。
	現状と課題 (地域とのつながり)	⑩	・地域のつながりの希薄化に関するデータが「悪いことをしたら叱られる」だけでは不十分。挨拶の有無など、一般的な内容も加えた方がよい。
	施策体系		⑪
		⑫	・自尊感情は重要であり、施策の方向に入れてほしい。